



蛍樟新聞

けいしょう

学校教育目標

心豊かで、よく学びよく遊ぶ児童を育成する
やさしい子 考える子 強い子

笑顔の輪、がんばりの輪の広がり

校長 勝間光洋

7月に入り、雨の多い日が続いています。先日の九州北部の記録的豪雨による災害には心が痛みました。被害にあわれた方々に心よりのお見舞いを申し上げます。いつ、なんどき、災害が起こるか分かりません。私たちも備えをしっかりと、家庭で、学校で、よく話し合いをしておく必要があると強く思いました。

学校は、早いもので1学期があと少しで終わろうとしています。終わる前の一大行事として、明日から、5・6年生30名は倉敷市少年自然の家に3泊4日の長期宿泊体験活動へ出発します。この4日間の自主的な活動により、どんなにたくましくなって帰ってくるか楽しみです。今年のテーマは、「One Rank Up !(ワンランクアップ!)」です。それぞれの目標が達成され、よりすばらしい川面っ子の姿を見せてくれるものと期待しています。

6月後半は、集会があったり、今年度から拡大した合同授業があったりと、いろいろな友だちとかわるかわる事が多く、そのたびに友だちのよさを発見したり、自分のすばらしさを見直したりして、一人一人の笑顔が広がったように思います。



なかよし月間の取組で笑顔いっぱい!

6月はなかよし月間でした。それぞれの学級で、なかよくなるための取組を考え、活動してきました。やさしい川面っ子の絆がいつそう深くなっていった毎日でした。掲示板にはられている「なかよしの木」にも温かい言葉の葉がたくさん繁り、やさしく大きな木に成長しました。また、昼休みにも全校遊びで「全校ふやし鬼」をしたり、「全校陣地取り」をしたりして、運動場に楽しい声がいっぱい響いていました。



そんな毎日の成果を6月29日のなかよし集会で発表するとともに、ゲームや歌でみんなと楽しい時間を過ごしました。みんなのやさしい言葉やたのしい笑顔に囲まれて、ほっこりとした時間を過ごすことができました。

みんなのやさしさにありがとう!



「合同授業」で友だち増えて、笑顔いっぱい!

昨年度まで、矢掛町7小学校の4年生が集まり、3日間の合同授業を行ってきました。また、3年生の交流会や5年生の海の学習、6年生の修学旅行などでは、町内の小学校が連合で行っていました。本年度からは、合同授業の機会を増やし、大人数での授業を行い、いろいろな人の考えにふれたり、自分の考えを発表したりして、表現力・コミュニケーション能力を育てる目的で、学期に1回実施します。

6月30日には、矢掛小学校の5年生の半数と6年生の半数が川面小に来校し、それぞれの学年と一緒に学習しました。また、7月5日は、3年生が小田小に行き、4年生は小田小の子どもたちを迎えて一緒に学習をしました。はじめのうちは緊張感がありましたが、だんだんと笑顔が表れるようになり、一人一人がいつもとちがう雰囲気の中で頑張る姿が印象的でした。子どもたちにとって、大変刺激的で、日頃の自分や学級を振り返ることができたようです。



資源回収へのご協力をありがとうございました。

6月17日(土)には、多くの方のご協力のもと、スムーズに回収作業ができました。また、みなさんのおかげで、昨年より多くの回収ができました。助成金等も含めて、後日報告いたしますので、ご確認ください。改めまして、心よりお礼申し上げます。



教職員の働き方改革について

昨今、新聞やニュースでもよく取り上げられるようになった「働き方改革」について、学校の現場でも、働き方の見直しを考えるようになってきています。岡山県教育委員会・矢掛町教育委員会より、教職員の働き方改革についての今後の取組等を別紙で配布いたします。それを受けて、川面小学校でも、子どもと向き合える時間を確保して、わかる・できる授業、楽しい授業を行えるよう、教育活動をもう一度見直そうと思います。そして、時間外勤務が大幅に超過することなく、いつも「子どもファースト」であり続けるためにはどうしたらよいかを考えていきたいと思っています。保護者の皆様や地域の皆様のご理解ご協力をこれからもお願いしたいと思います。

